



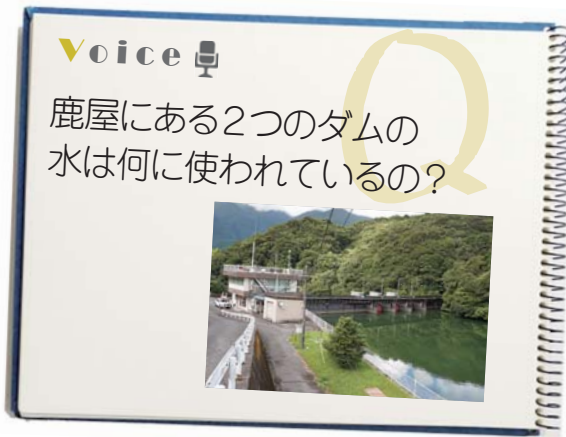
市内のダムとその受益地域 (イメージ) ©Google



谷地で水をせき止め、治水や利水などに利用する「ダム」。本市には「高隈ダム」と「輝北ダム」の2つのダムがあります。

この2つは重力式コンクリートダムとなっており、ダム湖に蓄えられた水の圧力をコンクリートでできた堤体の自重によって支える構造。強固な基礎岩盤上にダム本体を作るので、傾斜が急な地形や地質などに適した形式となっています。

上高隈町の高隈ダムは、肝属川水系申良川から、保水性の低い笠野原台地へ農業用水を送るための国営畑地灌漑(畑かん)事業第一号として、昭和34年に採択、昭和42年に完成しました。高隈ダムができたことにより、それまで干ばつに強い作物の栽培に限られてきた笠野原台地でもその他の露地・施設野菜が作られるようになりました。またダムから下流



側約8kmの地点には、水流によって発電を行う「笠野原発電所」も設置してあります。

一方の輝北ダムは輝北町平房に位置し、こちらも灌漑を目的として平成元年に着工しました。輝北町を源流とする菱田川水系の大鳥川から曾於南部(輝北町、志布志市有明町、大崎町)へ水路が伸びていますが、畑かん事業全体が完了したのは令和4年度のことです。また、小水力発電所が併設されており、約400世帯分の電力を作ることができ、令和5年9月には、かごしま国体ローイング競技の会場として特設コースが設けられました。

ダムは農業用水としての利用のほか、大雨時には下流部への水害等を防ぐ役割もあり、食や防災など私たちの生活を支えています。

どのくらいの水を貯められるの?

市内2つのダムの総貯水容量は次の通り。ちなみに、日本最大の総貯水容量を誇る徳山ダム(岐阜県)は6億6,000万m<sup>3</sup>。桁が違います。

	高隈ダム	輝北ダム
総貯水容量	1,393 万m <sup>3</sup>	820 万m <sup>3</sup>
25m プールだと(1杯 600m <sup>3</sup> )	約 2万 3,200 杯	約 1万 3,600 杯
湛水(水面)面積	104ha	72ha

お手数ですが  
63円切手を  
お貼りください

8 9 3 - 8 5 0 1

POST CARD

鹿屋市役所 政策推進課

広報かのや  
KANOYA 「読者のひろば」係 行

お名前/ふりがな

電話番号

ペンネーム ※未記入の場合、イニシャルで掲載します

年齢/性別

ご住所 □□□-□□□□

歳 男・女  
プレゼント 要・不要  
クイズの答え

皆さんからの  
お便りを募集

広報誌への感想や取り上げてほしい話題のほか、市へのご意見、地域のイベントや写真など多くの情報をお寄せください。

お便りの中から、抽選で特産品等をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております!

※掲載時に原稿の一部を手直しする場合があります。

〒 893-8501  
鹿屋市共栄町 20-1  
政策推進課  
「読者のひろば」係  
☎ 0994-31-1123